

平成31年3月8日
独立行政法人日本スポーツ振興センター
広報室

日本データマネジメント・コンソーシアム主催 2019年度データマネジメント賞
ハイパフォーマンスセンターの取り組みがアナリティクス賞を受賞

日本スポーツ振興センター(JSC: JAPAN SPORT COUNCIL)は、日本データマネジメント・コンソーシアム(JDMC: Japan Data Management Consortium)主催の2019年度データマネジメント賞において、アナリティクス賞を受賞し、3月7日(木)に表彰を受けました。

データマネジメント賞は、様々なデータや情報のマネジメントに関する社会的認知を高め、企業や行政機関などがデータマネジメントを実践するための土壌を創ることを目的としている JDMC が主催し、データマネジメントにおいて、他の模範となる活動を実践している企業・機関等の中から優秀なものを選定し大賞ほか各賞を表彰するものです。

日本スポーツ振興センターは、ハイパフォーマンスセンターにおいて行っているスポーツ分野でのデータ・アナリティクスへの取り組みが、国際大会等での日本人アスリートの活躍として結果に繋がっているとして受賞対象に選定されました。

ハイパフォーマンスセンターでは、これまでハイパフォーマンススポーツに関する研究と科学支援を融合させた医・科学・情報サポート、ゲーム分析や映像分析等の専門家による取り組みなどをアスリートや各競技団体に対して実施してきました。これらの取り組みが、オリンピック・パラリンピックを始めとする国際競技大会における日本人の活躍に貢献していると評価されたものと認識しております。

今後も引き続きデータ・アナリティクスへの取り組みを推進し、ハイパフォーマンスセンターのミッションである「国内外のハイパフォーマンススポーツの強化」に貢献できるよう、業務を進めてまいります。



久木 留 国立スポーツ科学センター長/ハイパフォーマンス戦略部長が
JSC を代表して表彰状を受け取り、挨拶を行いました。